

# 再生可能エネルギーの今と昔を見よう！

-平成 24 年度第3回市民意見交換会-



おはようございます！今日は、ご参加いただき誠にありがとうございます！

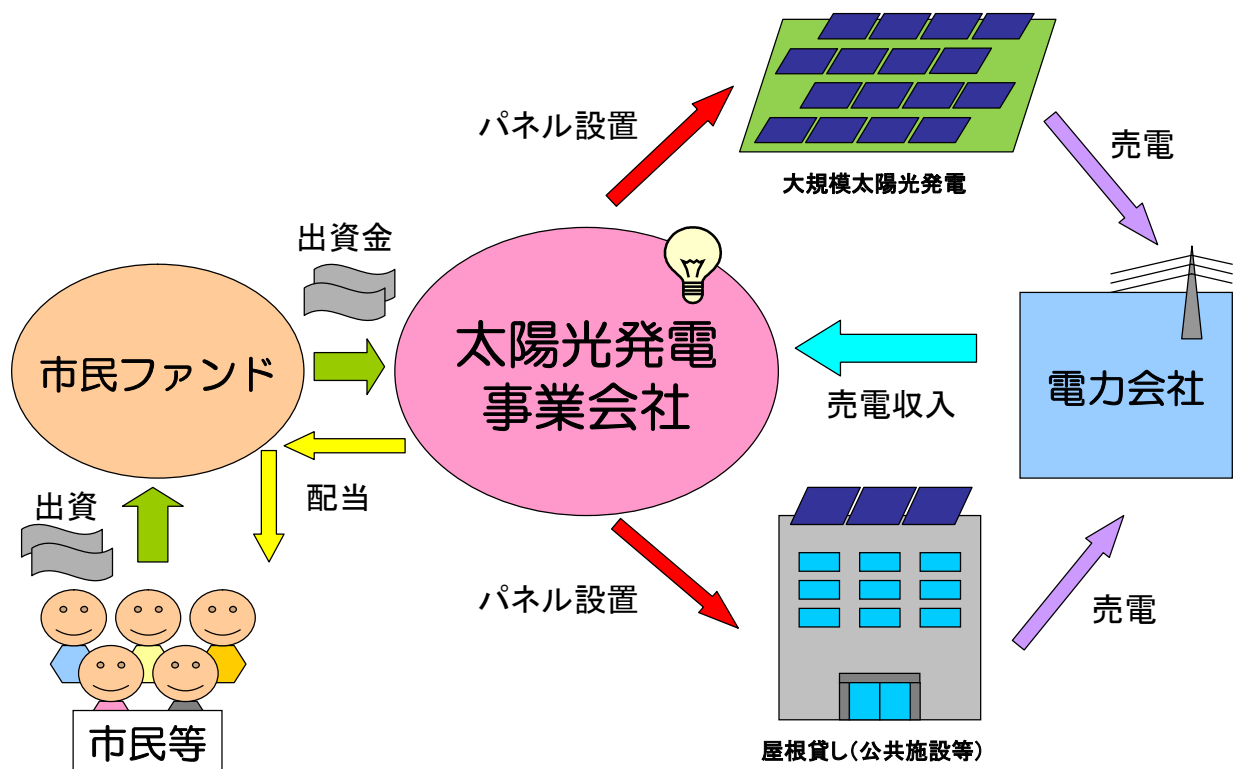
小田原再生可能エネルギー事業化検討協議会では、地域で消費するエネルギーをできるだけ地域で創り出す社会への転換を図るため、再生可能エネルギーの事業化による普及を目指して活動しております。

今日は、太陽光発電と小水力発電に係る場所を実際にご覧いただくことで、市内への再生可能エネルギーの導入に対し、より一層のご理解ご協力を賜ることを目的としています。

今日はよろしく願いいたします！

## 再生可能エネルギー事業の仕組み

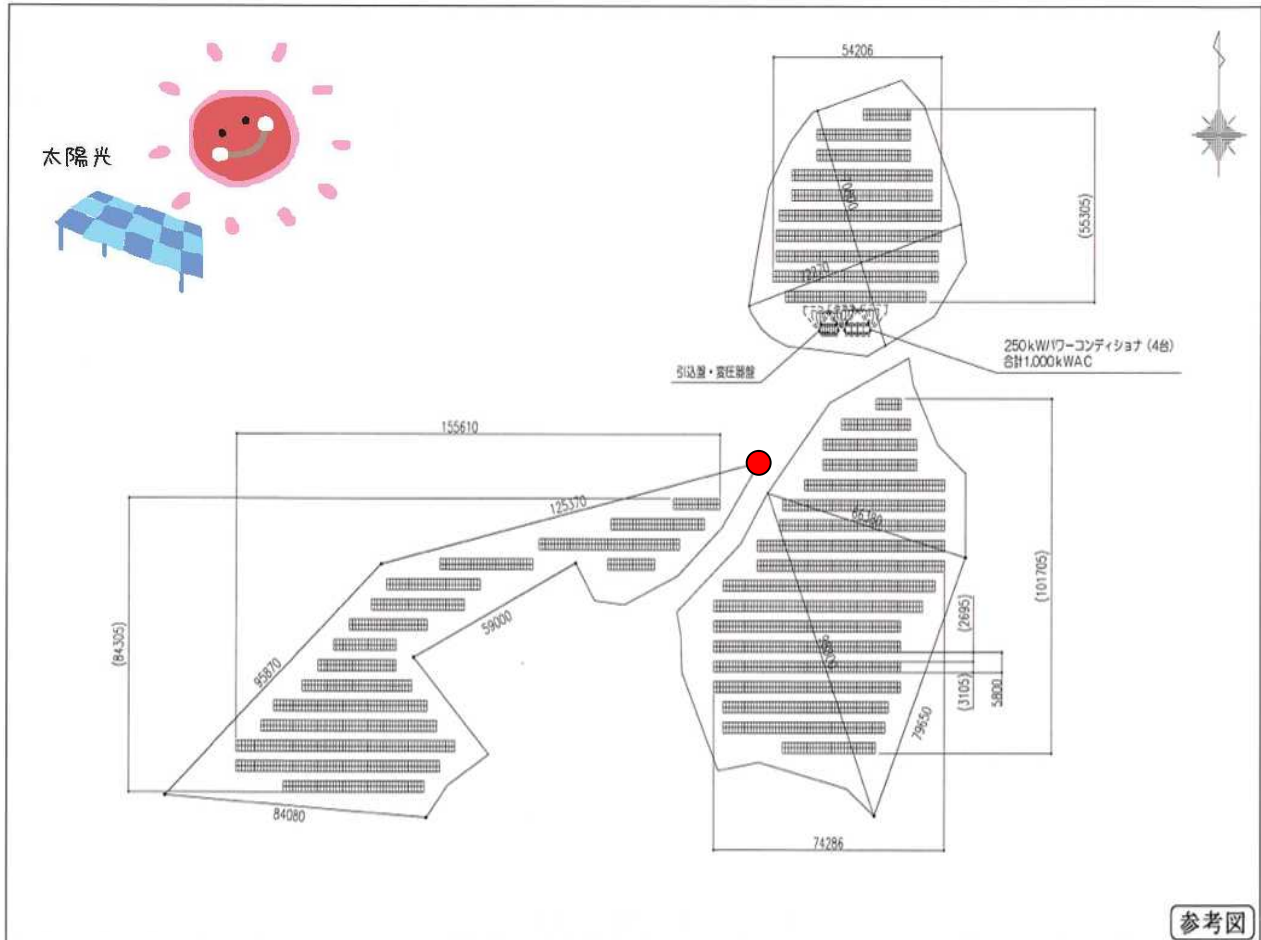
協議会では、市民出資による市民参加を取り入れた再生可能エネルギー事業の仕組みを検討しています。



# 見学地情報

## 1. 大規模太陽光発電所（メガソーラー）建設予定地

協議会で検討してきた大規模太陽光発電事業を実際に行う予定地です。昨年 12 月に設立された「ほうとくエネルギー(株)」によって、着々と準備が進められています。



- メガソーラー計画図 -

【所在地】 小田原市久野字亀甲山 他

【現状】 公共建設発生土指定埋立地

【発電所概要】

- ・ 予定設備容量 約 1 MW
- ・ 予想発電量 963,310kWh/年（約 260 世帯分の年間電力消費量に相当）
- ・ 建設予定面積 約 1.8ha（5,445 坪）

## 2. 小水力発電所遺構

久野の山林内に、大正時代に建設された小水力発電所の跡地があります。本日は、発電機が設置されていた場所と、発電のための水を一時的に溜めてゴミなどを取り除く“沈砂池”があった場所の2か所を見学します。

【所在地】 小田原市久野 山林内

【発電所概要】

- ・建設時期 大正8年～12年
- ・設備容量 約117kW ※当時
- ・用途 製材所への給電、紡績工場へ売電 ※当時



小水力発電所 プチフォトギャラリー  
～発電所の過去と現在～

【沈砂池】

【発電した電力を使用していた製材所】

(昭和10年頃の写真と推測されます)

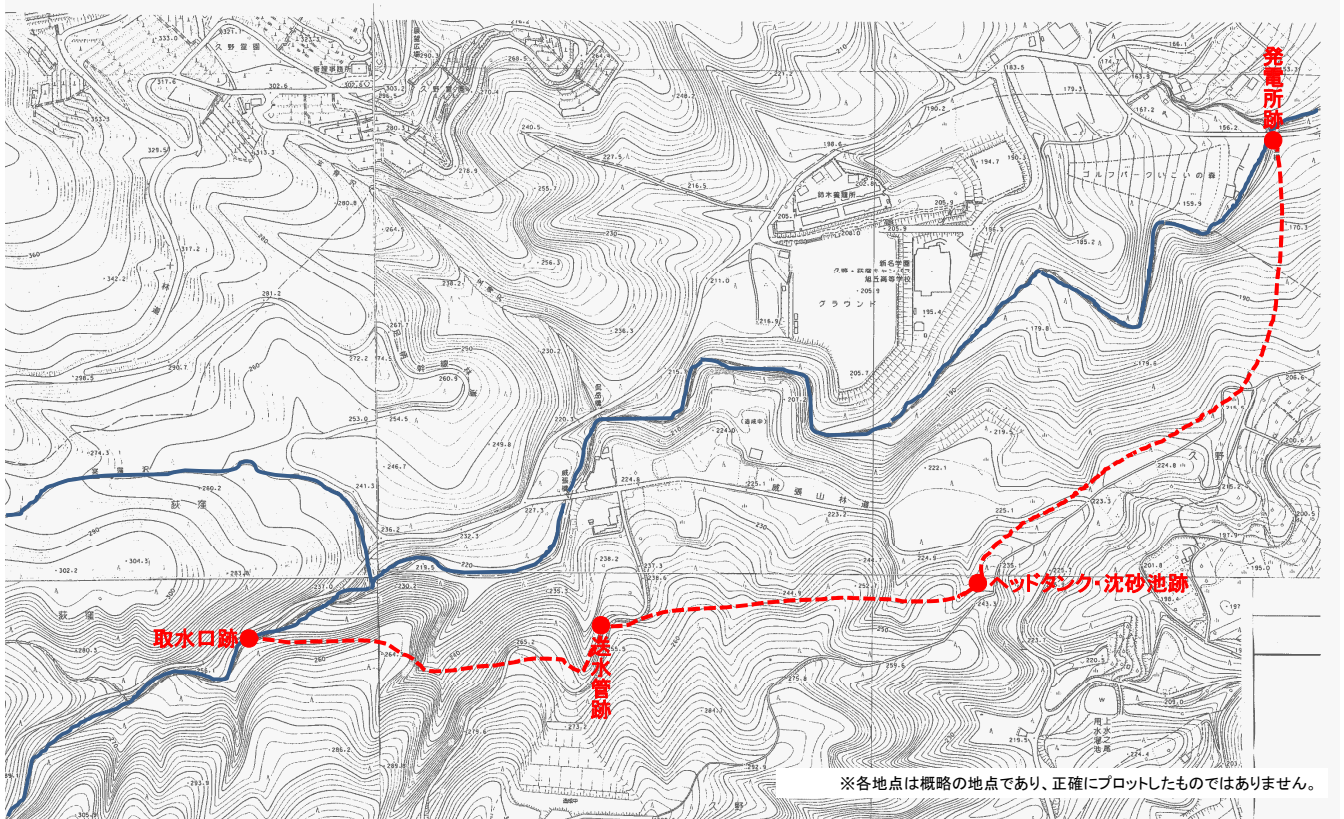


【発電機跡】



【通水管台座】

(平成24年8月21日撮影)



- 小水力発電所送水想定経路 -

### 3. 荻窪用水

荻窪用水は、江戸時代（工事開始は1797年（寛政9年））に小田原藩の水田事業として開かれました。箱根町塔之沢付近で早川の水をせき止め、そこから山間を抜け、荻窪へとつながる全長10.3kmの用水路です。公益社団法人土木学会の“選奨土木遺産”として登録されており、全国的に有名な用水路です。

協議会では、この荻窪用水を小水力発電の事業化の候補地の一つとして考えています。

